

県女第一期生より、皆実高校生に至る

118年の歴史に連なる者、

また今後、この同じ流れに連なる者、

手をつなぎ足音高く歩もう。

足音高く声を揃えて元気に歩もう。

我等は、皆実有朋会会員（37,721人）である。

歩もう、歩もう力強く！



No. 82 2019 (令和元) .12.15

## 米寿のお祝い 皆実卒業生も仲間入り

皆実1期



明治34年（1901年）広島県立広島高等女学校が設立され、昭和23年広島有朋高等学校発足（高等女学校4年生、5年生が、有朋高校1年、2年に編入）を経て、昭和24年（1949年）4月30日に広島県広島皆実高等学校が発足しています。  
今年はそのから70年が経過した年になります。このため卒業時18歳の有朋44期、皆実1期の方々には米寿を迎えられました。第66回皆実有朋会定期総会においても、皆実高校発足後初めての卒業生お一人おひとりに、当番期から花束を贈呈して、参加者全員でお祝いをしました。また、例年に比べ極め

て多数の22名（有朋44期18名、皆実1期4名）の御出席をいただきました。  
米寿の方からは、廃墟の中、復興に向けて少しずつ、立ち上がってこられた学生生活の思い出をこの度の定期総会プログラムに寄稿していただきましたので、一部を掲載いたします。



有朋44期

昭和20年8月、焼け野原を灰まじりの風が吹く広島で、あなたも私も生きていました。  
なんにも無いけれど、目をつむると何でも有りの、不思議な始まりの時代でした。  
街はずれの工場あとが仮校舎、先生と生徒が集まって県女の再校、生きて学べる幸せは重かったけど、思い出は光っています。いろんな友だちがいて、面白かった。……昼食は楽しいおしゃべりタイム。誰にももらったのか、草ぼうぼうの中、散らばった敷石にすわったセーラー服の少女たちの写真が一枚だけあります。生意気にも、男女同士の総選挙の話でしょうか。……

（有朋44期 M.O）

それまで通っていた高校2年修了で、新制皆実高校3年に編入された。……

まだ敗戦後の混乱期とあって旧陸軍の被服支廠倉庫を転用した教室で、校章も、制服も無く卒業アルバムの写真、前身校の服装のまま身内の払い下げの詰襟や帽子、セーラー服、兵隊服などまちまち。

秋の運動会は、千田町の工業部（旧県工）のグラウンドで行われ、普通部の出し物は、俵神輿で、親戚の叔母や姉の派手な衣装で、草津音頭の替え歌・皆実音頭で練り歩いた。……

（皆実1期 浅野 温生）